

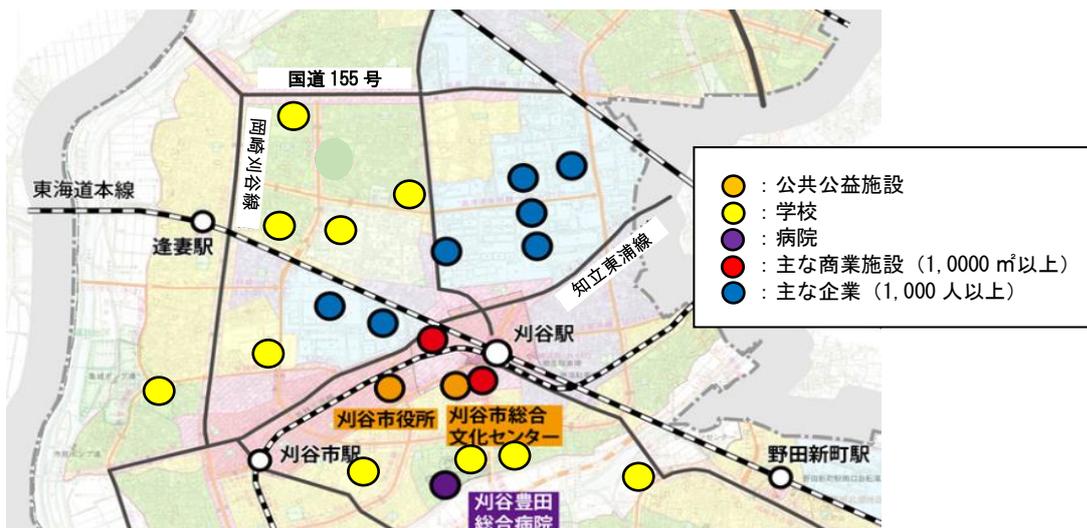
## 2 自転車を巡る本市の現状と課題

### 1. 自転車の利用状況

#### 【都市機能集積と交通】〔都市環境〕

本市では、刈谷駅周辺を中心とする市街地に大規模事業所や商業施設、学校等の様々な都市機能が集中しており、国道沿いや主要な施設周辺では渋滞が発生しています。

#### ＜刈谷駅周辺の通勤先・通学先の立地状況＞



資料：刈谷市都市交通戦略（一部加工）

#### ＜刈谷駅周辺の渋滞箇所図＞



資料：交通量調査（2015（H27））

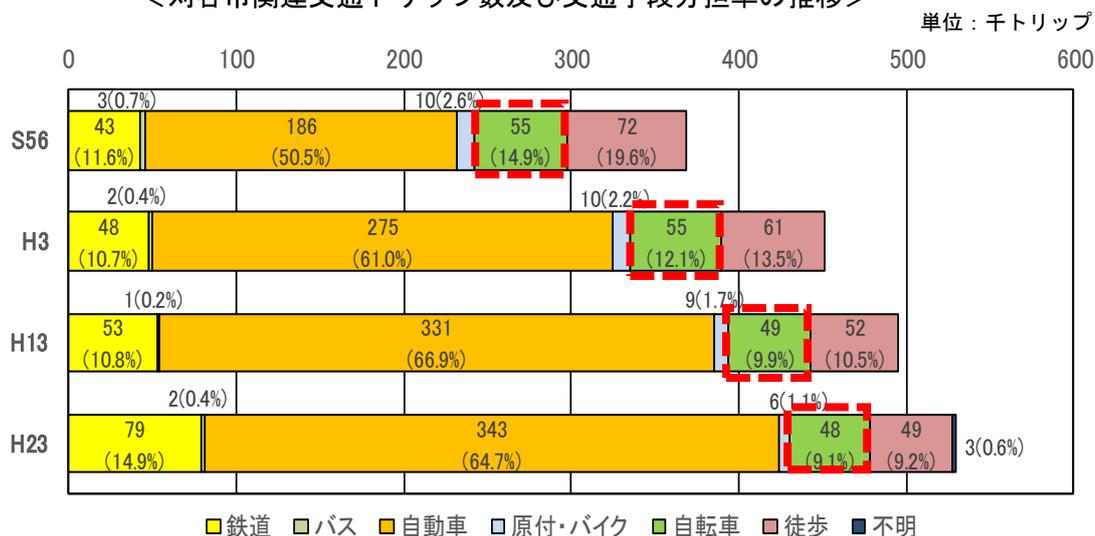
### 課題

- ・刈谷駅周辺では渋滞が発生しており、自動車からの自転車や公共交通への交通手段の転換が必要です。

【自転車利用の状況】〔都市環境・観光・健康〕

交通手段分担率は自動車の割合が最も大きく、自転車の分担率は昭和56年（1981年）の14.9%から平成23年（2011年）の9.1%となり、減少傾向にあります。また、「都市交通に関するアンケート調査」によると自転車利用の目的は、「通勤・通学」「日常の買い物」「通院」利用が多くなっています。

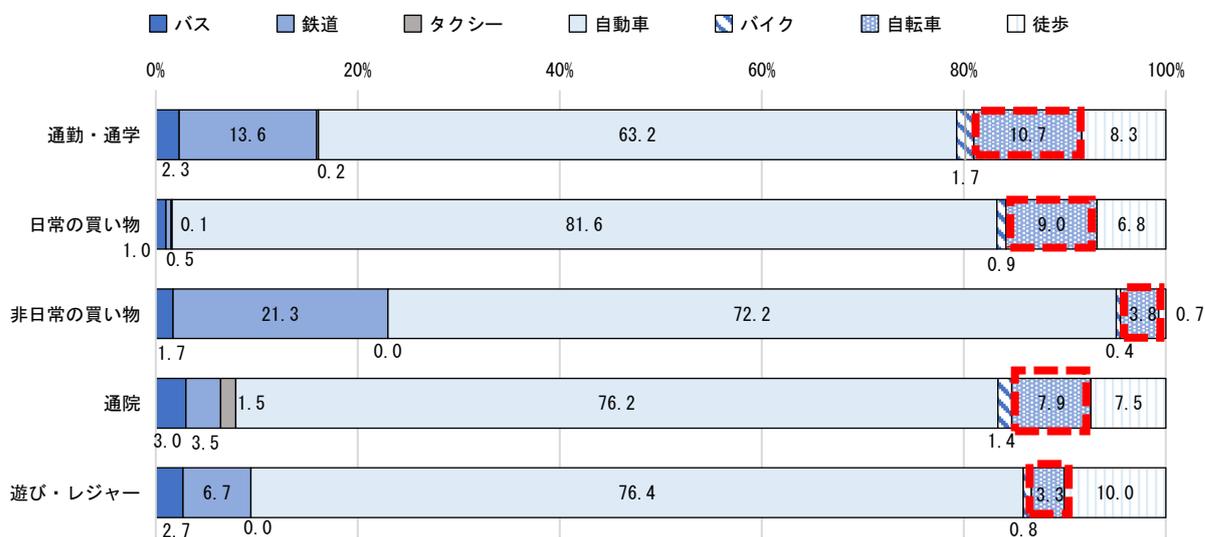
＜刈谷市関連交通トリップ数及び交通手段分担率の推移＞



※トリップ：人がある目的を持って起点から終点に移動した交通手段毎の移動の単位

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査

＜目的別の利用交通手段の状況＞



資料：刈谷市の都市交通に関するアンケート調査（令和元年）

課題

・本市の自転車分担率は年々減少傾向にあり、通勤・通学等の日常利用だけでなく、遊び・レジャー等の自転車利用を拡大する必要があります。

【市内中学校の自転車通学生徒の状況】〔都市環境・安全〕

令和3年度における市内6中学校(生徒数4,155人)における自転車通学者は1,457人です。依佐美中学校は全校生徒の約95%の681人、富士松中学校は全校生徒の約75%の457人が自転車通学を実施しています。



＜中学校別自転車通学者数（令和3年度）＞

	学生数	自転車通学者数	割合
刈谷南中学校	720	168	23.3%
刈谷東中学校	623	13	2.1%
富士松中学校	595	457	76.8%
雁が音中学校	789	138	17.5%
依佐美中学校	717	681	95.0%
朝日中学校	711	0	0.0%
中学校計	4,155	1,457	35.1%

資料：学校教育課提供

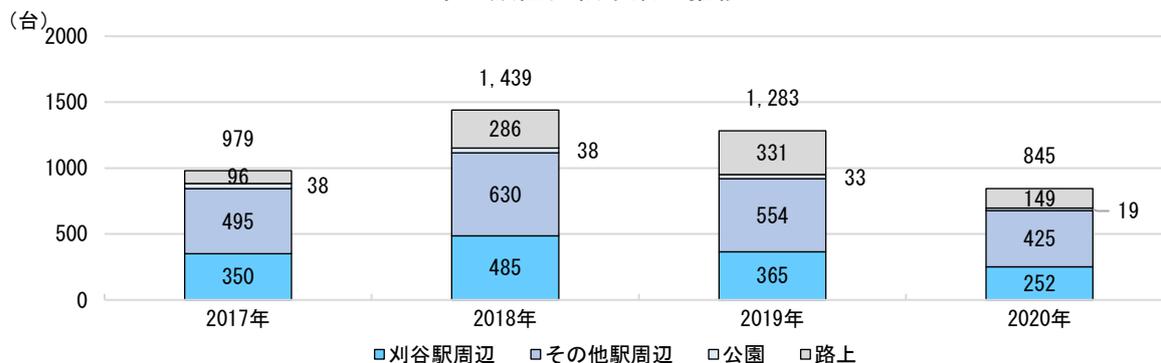
課題

- 市内中学校の自転車通学は約35%の生徒が利用しており、安全に自転車通学できる環境整備及び安全教育に対する取組が必要です。

【放置自転車の状況】〔都市環境〕

本市の駅周辺における放置自転車台数は、自転車駐車場の整備や放置自転車禁止区域の指定(刈谷駅・刈谷市駅・富士松駅)により減少傾向となっています。

＜市の放置自転車数の推移＞



※刈谷駅周辺、その他駅周辺は各駅自転車駐車場内の放置自転車台数を示す

資料：撤去自転車保管台帳（くらし安心課提供）

課題

- 放置自転車は減少傾向にありますが、自転車駐車場内における長期駐輪が見られます。自転車駐車場の適正な運用を促す取組が必要です。

## 【自転車駐車場の現状】〔都市環境〕

市内には、8つの駅に、平面式・立体式合わせて27箇所(8,800台)の自転車駐車場が整備されており、一部を除く自転車駐車場は駐輪需要に対して充足しています。

## ■刈谷駅

自転車駐車場名	形態	駐輪可能台数	屋根の有無	駅からの距離	駐輪台数
刈谷駅北口平面自転車駐車場	平面	714台	有	100m以内	862台
刈谷駅北口立体自転車駐車場	立体	828台	有	100m以内	791台
刈谷駅南口第1自転車駐車場	平面	222台	有	100m以内	274台
刈谷駅南口第2自転車駐車場	立体	974台	有	200m以内	1178台
刈谷駅南口第4自転車駐車場	平面	821台	有	300m以内	345台
刈谷駅南口第5自転車駐車場(仮設)	平面	45台	無	300m以内	6台

## ■刈谷市駅

刈谷市駅高架下自転車駐車場	平面	352台	有	100m以内	295台
---------------	----	------	---	--------	------

## ■逢妻駅

逢妻駅北口第1自転車駐車場	平面	187台	有	100m以内	222台
逢妻駅北口第2自転車駐車場	平面	232台	有	100m以内	132台
逢妻駅南口自転車駐車場	平面	209台	有	100m以内	177台

## ■東刈谷駅

東刈谷駅北口自転車駐車場	平面	122台	有	200m以内	70台
東刈谷駅北口立体自転車駐車場	立体	340台	有	100m以内	509台
東刈谷駅南口第1自転車駐車場	平面	485台	有	100m以内	475台
東刈谷駅南口第2自転車駐車場	平面	277台	有	200m以内	267台

## ■富士松駅

富士松駅北口第1自転車駐車場	平面	172台	有	100m以内	129台
富士松駅北口第2自転車駐車場	平面	129台	有	200m以内	38台
富士松駅北口第3自転車駐車場	平面	177台	有	100m以内	170台
富士松駅南口第1自転車駐車場	平面	108台	有	100m以内	138台
富士松駅南口第2自転車駐車場	平面	151台	有	100m以内	133台

## ■一ツ木駅

一ツ木駅北口自転車駐車場	平面	202台	有	100m以内	115台
一ツ木駅南口第1自転車駐車場	平面	212台	有	100m以内	222台
一ツ木駅南口第2自転車駐車場	平面	92台	有	100m以内	102台
一ツ木駅南口第3自転車駐車場	平面	161台	有	100m以内	185台

## ■小垣江駅

小垣江駅東口自転車駐車場	平面	443台	有	100m以内	428台
小垣江駅西口自転車駐車場	平面	149台	有	100m以内	105台

## ■野田新町駅

野田新町駅北口自転車駐車場	平面	344台	有	100m以内	133台
野田新町駅南口自転車駐車場	平面(2層式)	652台	有	100m以内	385台

※駐輪台数はH29～R元年度の月別平均駐輪台数を示す

※東刈谷駅北口立体自転車駐車場の駐輪台数は北口駅前広場内の駐輪台数を含む

資料：刈谷駅南口第1自転車駐車場他利用状況調査

## 課題

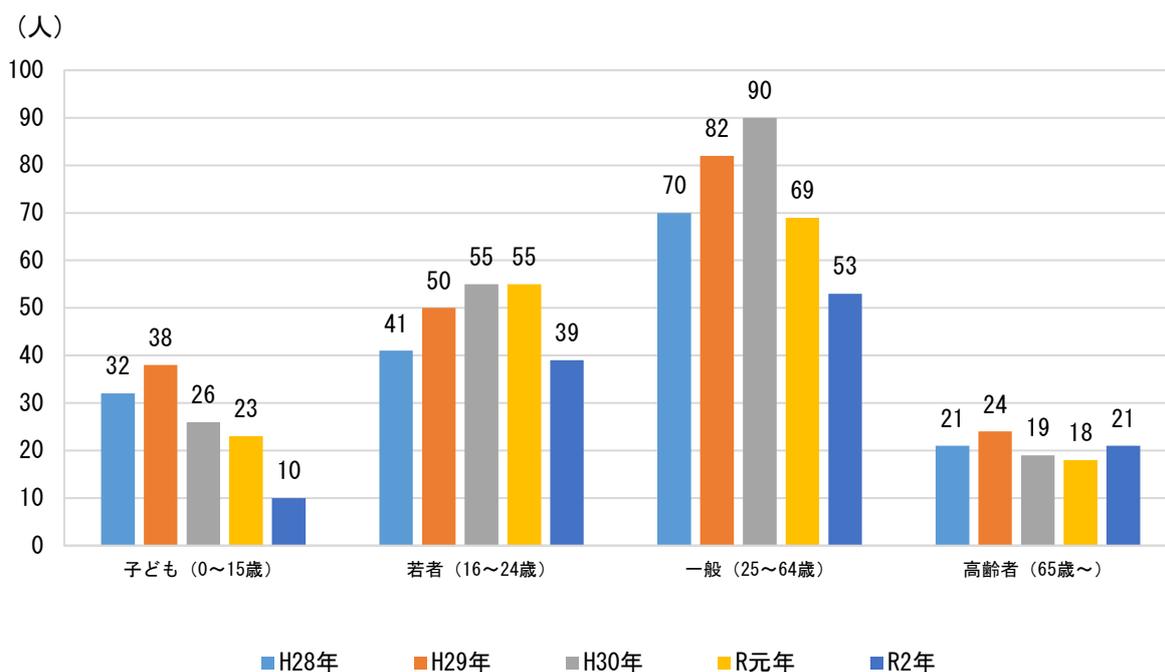
- ・市内の各鉄道駅に自転車駐車場が整備されていますが、充足率に偏在が見られます。自転車駐車場の需給バランスに応じた整備が必要です。

## 【自転車交通事故の現状】〔都市環境・安全〕

本市における年齢層別自転車交通事故発生状況は減少傾向にありますが、若者（16～24歳）及び高齢者（65歳～）は横ばいとなっています。令和2年の自転車交通事故については、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出自粛により減少したと考えられます。

また、自転車乗車中の交通事故死傷者数を自治体の人口1万人あたりに算出した指標では、周辺自治体及び愛知県内平均を上回っています。

## ＜年齢層別自転車交通事故発生状況＞



	28年	29年	30年	元年	2年
子ども(0～15歳)	32	38	26	23	10
若者(16～24歳)	41	50	55	55	39
一般(25～64歳)	70	82	90	69	53
高齢者(65歳～)	21	24	19	18	21
合計	164	194	190	165	123

資料：第11次刈谷市交通安全計画（策定中）

＜自転車乗用中の死傷者数（自治体居住者別）（人/人口1万人当たり：2020年（令和2年））＞

順位	(人)	自治体名	順位	(人)	自治体名	順位	(人)	自治体名
1	19.13	中区	24	8.55	岩倉市	47	5.55	蒲都市
2	13.37	中村区	25	8.45	清須市	48	5.34	高浜市
3	13.35	豊山町	26	8.16	阿久比町	49	5.34	武豊町
4	12.95	西区	27	8.04	天白区	50	5.22	豊川市
5	12.34	東区	28	8.00	長久手市	51	5.03	東海市
6	12.23	中川区	29	7.95	瑞穂区	52	4.96	扶桑町
7	11.98	大治町	30	7.90	刈谷市	53	4.90	美浜町
8	11.69	蟹江町	31	7.63	稲沢市	54	4.87	知立市
9	10.80	緑区	32	7.54	熱田区	55	4.85	日進市
10	10.61	守山区	33	7.29	千種区	56	4.28	碧南市
11	10.61	あま市	34	7.29	尾張旭市	57	4.17	豊田市
12	10.46	北区	35	7.07	豊明市	58	3.81	みよし市
13	10.22	春日井市	36	6.62	岡崎市	59	3.79	名東区
14	9.90	大口町	37	6.51	安城市	60	3.77	幸田町
15	9.71	豊橋市	38	6.40	津島市	61	3.65	常滑市
16	9.64	北名古屋	39	6.35	東郷町	62	2.74	知多市
17	9.46	小牧市	40	6.29	半田市	63	2.54	田原市
18	9.43	江南市	41	6.21	西尾市	64	2.18	飛島村
19	9.29	弥富市	42	6.16	大府市	65	1.37	新城市
20	9.28	港区	43	6.13	瀬戸市	66	0.60	南知多町
21	8.82	一宮市	44	6.09	東浦町	67	0.00	設楽町
22	8.75	昭和区	45	5.91	愛西市	68	0.00	東栄町
23	8.59	南区	46	5.90	犬山市	69	0.00	豊根村
							7.16	県下平均

凡例		
	平均値 2.0 倍以上	14.32 人～
	平均値 1.5 倍以上	10.74 人～14.31 人
	平均値以上	7.16 人～10.73 人
	平均値未満	3.58 人～7.15 人
		0.01 人～3.57 人
	0 人	0 人

資料：愛知県警資料

### 課 題

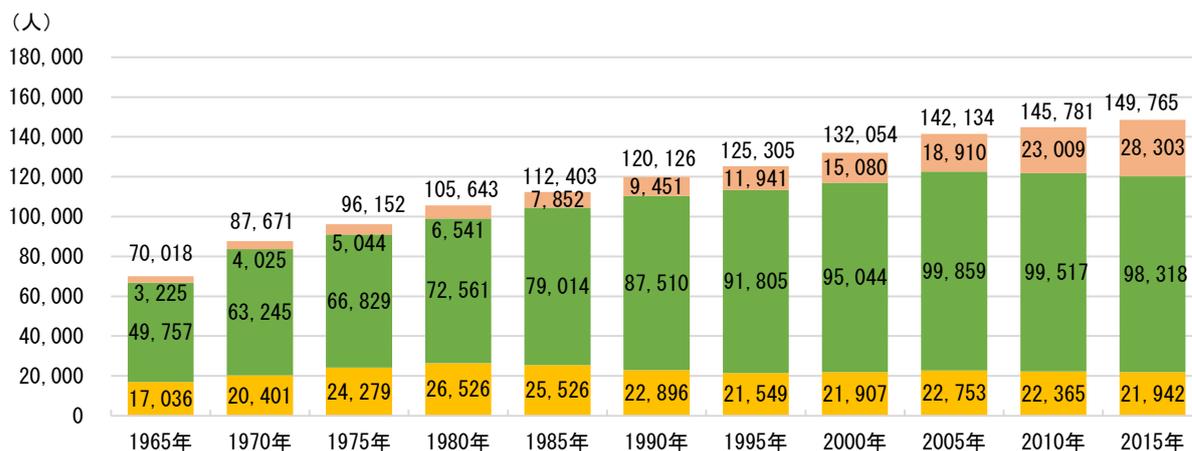
- ・自転車交通事故は減少傾向にありますが、人口1万人当たりの死傷者数は周辺自治体に比べ高くなっています。安全な通行環境の確保や年齢層に応じた安全教育などの事故抑制に向けた対応が必要です。

## 2. 自転車を取り巻く状況

### 【高齢化の状況】〔都市環境・健康〕

本市では、国や県と比較すると高齢化率は低いものの、少子高齢化は進行しており、今後も高齢者数の増加が予想されています。

＜刈谷市の総人口の推移と3区分人口比率の推移＞



資料：国勢調査

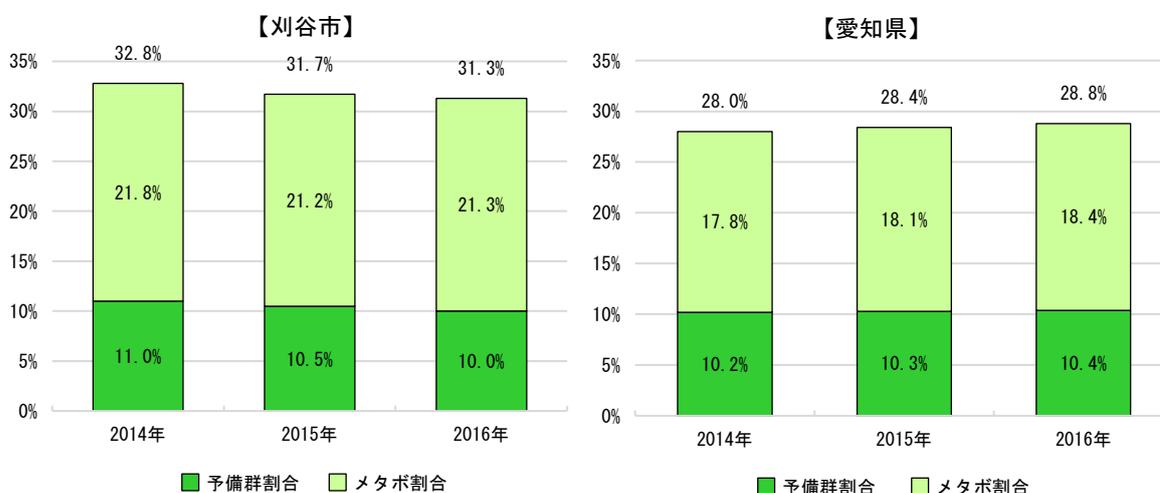
### 課題

- ・本市でも高齢化が進行し、高齢者数の増加が見込まれており、高齢者の移動支援環境を整える必要があります。

### 【運動習慣】〔都市環境・健康〕

本市のメタボリックシンドローム該当者及び予備軍合計は、近年では減少傾向となっていますが、愛知県と比較すると多い状態が続いています。

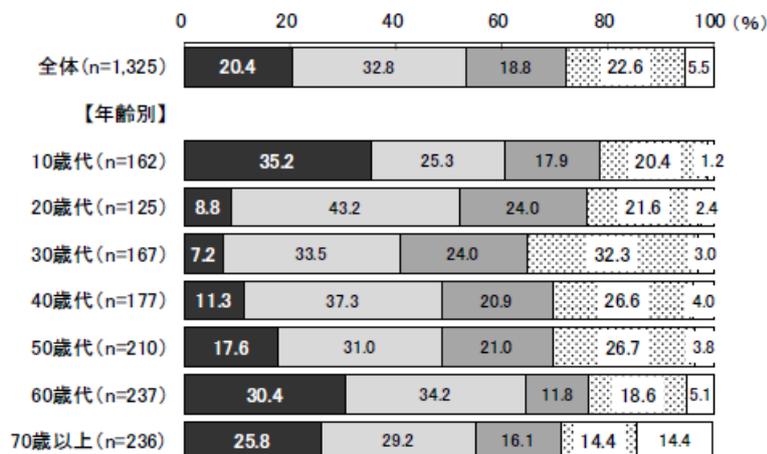
＜メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合（刈谷市・県比較）＞



資料：第2期刈谷市国民健康保険データヘルス計画

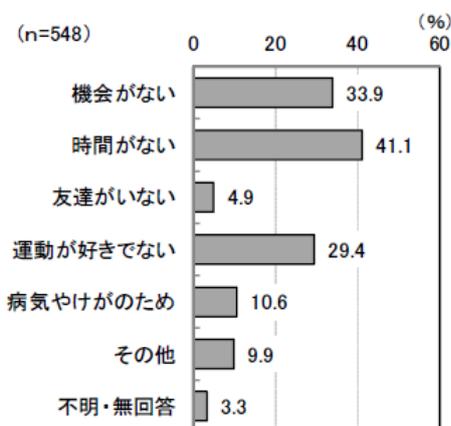
30歳代から50歳代では、健康の維持・増進のための意識的な運動をしていない人が約半数を占めており、また、運動をしていない理由として、「時間がない」が最も多くなっています。

<健康の維持・増進のための意識的な運動状況>



- いつもしている
- ときどきしている
- 以前はしていたが現在はしていない
- していない(したことがない)
- 不明・無回答

<運動していない理由の割合>

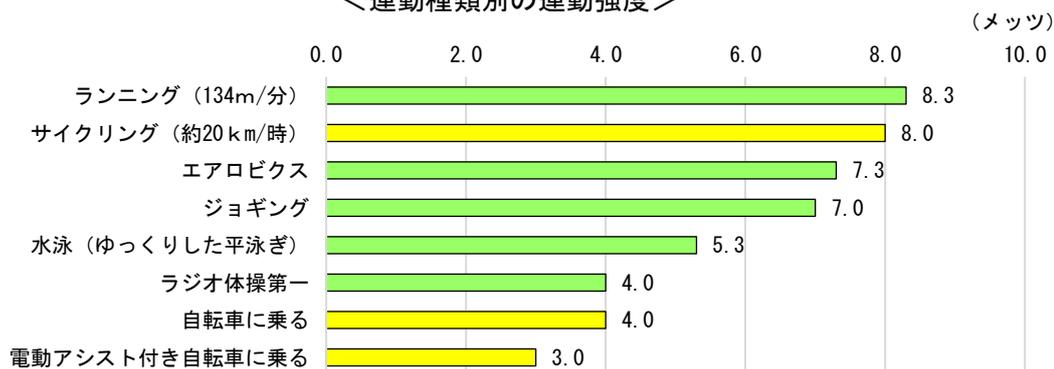


資料：第2次健康日本21かりや計画

◇◇◇自転車を使った運動◇◇◇

「運動基準・運動指針の改定に関する検討会 報告書(厚生労働省)」によると、サイクリング(約20km/時)はランニングと同程度の運動強度となるとされています。また、足腰に痛み等がある場合には、体重の負荷がかかりすぎない自転車運動が適していると示されています。

<運動種類別の運動強度>



資料：運動基準・運動指針の改定に関する検討会 報告書(厚生労働省)

※メッツ：運動強度の単位で、安静時を1とした時と比較して何倍のエネルギーを消費するかで活動の強度を示したもの

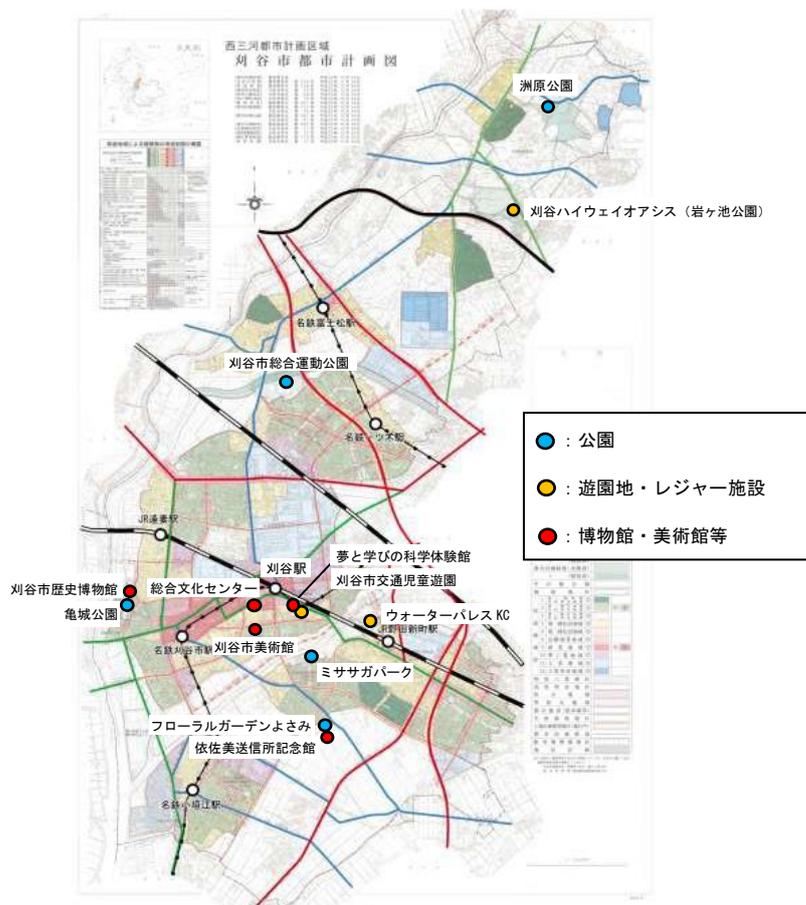
課題

・本市におけるメタボリックシンドロームの状況を踏まえると、予防対策や健康の維持・増進への運動支援対策などの健康寿命の延伸に関する取組が必要です。

【市内への観光客数の推移】〔都市環境・観光〕

市内には、刈谷ハイウェイオアシス等のレジャー施設や洲原公園や総合運動公園等の公園があり、市内外から多くの人を訪れています。

施設別の利用者では、刈谷ハイウェイオアシスが最も多く、次いで刈谷市交通児童遊園、夢と学びの科学体験館となっています。2020年は新型コロナウイルスの影響により施設利用者数は減少していますが、市内への観光客数は増加傾向にあります。



＜施設別・利用者数の内訳（2018年・2019年・2020年）＞

施設名	利用者数（人/2018年）	利用者数（人/2019年）	利用者数（人/2020年）
刈谷市美術館	120,119	113,649	66,474
刈谷市交通児童遊園	1,274,866	1,308,988	746,326
ウォーターパレスKC	218,155	234,169	105,967
刈谷ハイウェイオアシス	8,484,000	8,595,000	5,500,000
刈谷市総合文化センター	204,491	170,832	34,423
依佐美送信所記念館	29,187	33,109	15,789
夢と学びの科学体験館	220,066	241,369	96,522
刈谷市歴史博物館		58,526	22,541

資料：愛知県観光レクリエーション利用者統計

課題

- ・市内には多くの観光施設や公園が立地していますが、各施設へのアクセスや各施設を回遊できるような交通環境を整える必要があります。

【災害時における活用】

刈谷市地域防災計画―地震・津波災害対策計画―において、災害時の自転車の活用が位置付けられています。

＜刈谷市地域防災計画―地震・津波災害対策計画―（令和3年3月策定） 一部抜粋＞

第2編 災害予防

第7章 津波等予防対策 第3節 津波防災体制の充実

避難手段として、愛知県自転車活用推進計画を基に自転車の活用も検討する。

課 題

- ・災害時の自転車の活用について検討する必要があります。

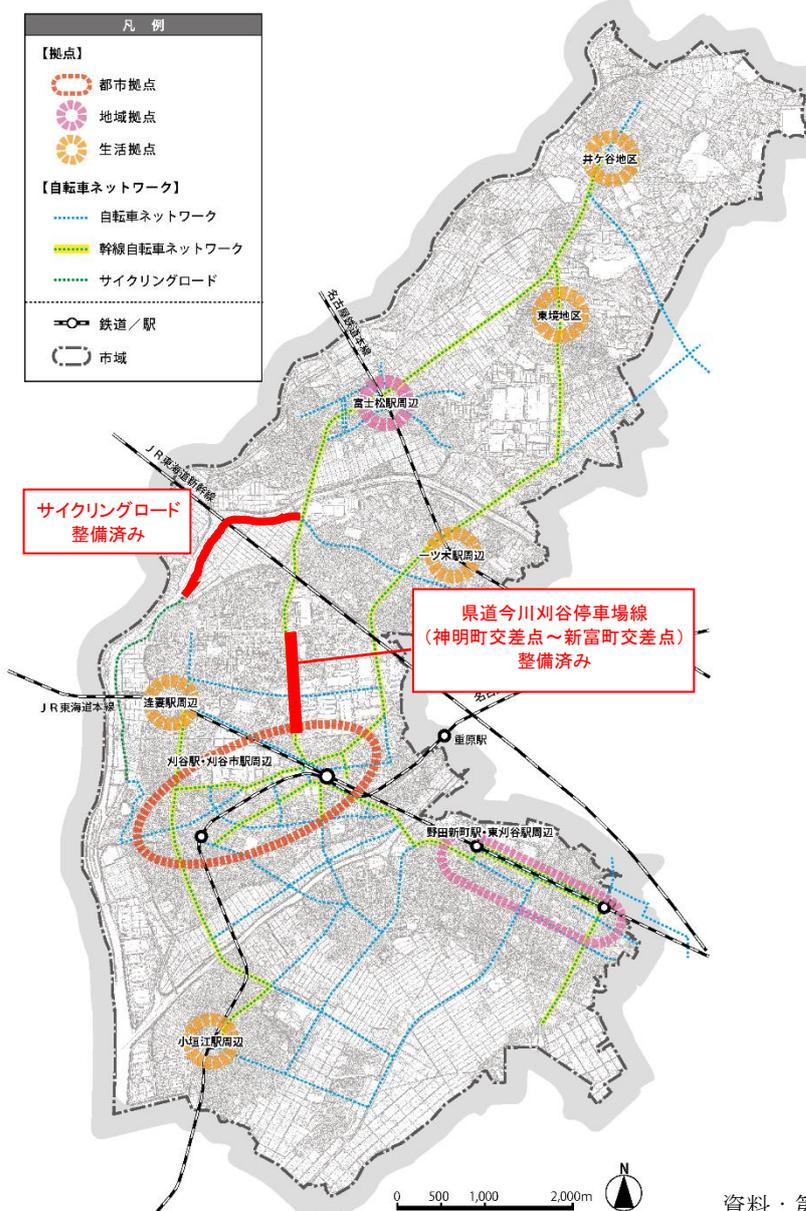
### 3. 自転車に関するこれまでの取組

#### 【自転車通行空間の現状】〔都市環境・安全〕

本市の自転車通行空間は、「刈谷市都市交通戦略」において、「安全で快適な自転車・歩行者ネットワークの形成」を基本施策として掲げており、利便性向上に資するネットワークの形成を目的に、都市拠点や地域拠点等を中心にネットワークを形成する路線の優先的な整備を推進しています。

現在の自転車通行空間の整備状況は、県道今川刈谷停車場線の神明町交差点・新富町交差点間において、約1kmの自転車道及び自転車専用通行帯、逢妻川沿いに刈谷市総合運動公園を起点として日高公園に至る約2kmのサイクリングロードが整備されています。

＜市内自転車ネットワーク図＞



＜県道今川刈谷停車場線＞



＜サイクリングロード＞



資料：第19回都市交通協議会資料より抜粋

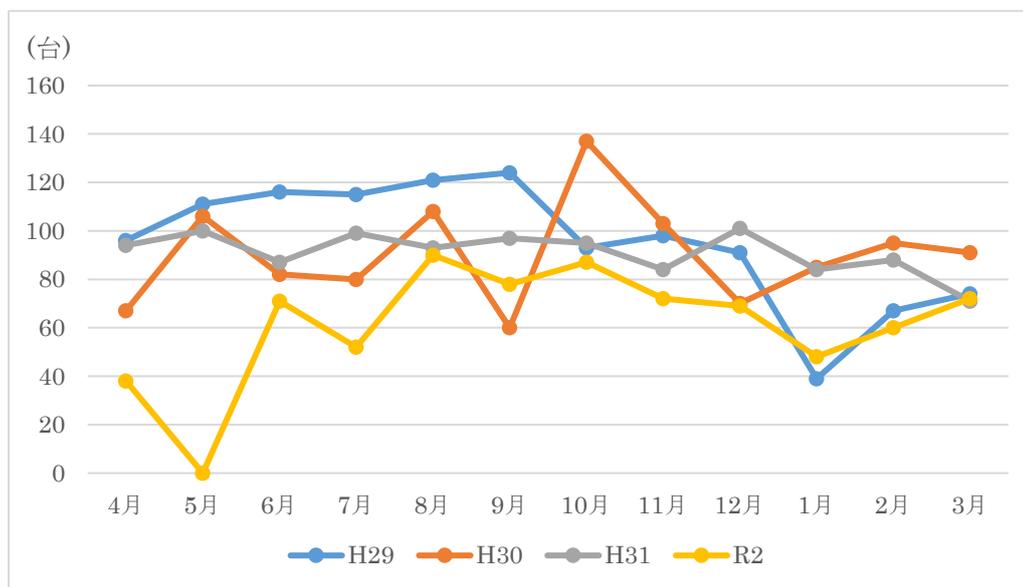
#### 課題

- ・ 駅周辺や主要施設を結ぶネットワークや安全な自転車通行空間の整備がされていない状況にあり、整備をより進める必要があります。

【レンタサイクル（観光案内所）の利用状況】〔都市環境・観光〕

レンタサイクルは、観光案内所において電動アシスト自転車を5台設置しており、40～140台/月程度が利用されています（0台の月を除く）。利用目的はビジネス目的が約4割、観光・買い物目的がそれぞれ約2割となっています。

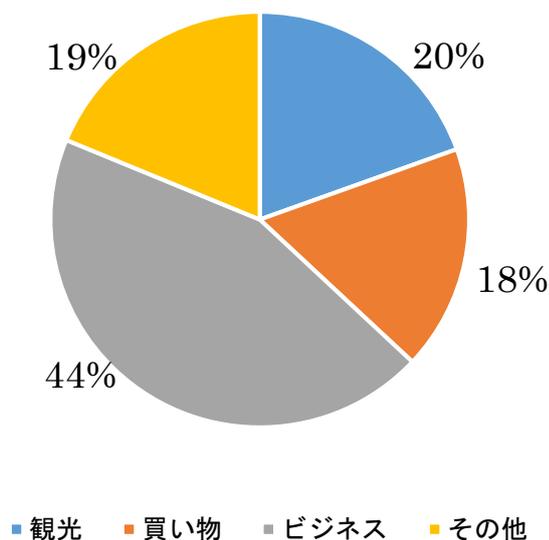
＜レンタサイクルの月別利用台数＞



※令和2年4月20日から5月31日まで観光案内休館のため、レンタサイクルの実施なし

＜レンタサイクルの利用目的＞

※H29～R2年平均



資料：文化観光課提供

課題

- 本市のレンタサイクルはビジネスや観光目的での利用が見られます。多様化するレンタサイクルのニーズに対応したレンタサイクル事業を実施する必要があります。

## 【自転車に関する安全への取組】〔安全〕

幼児、小学生、中学生、高校生、高齢者に対する交通安全教育の一環として、自転車に関わる交通安全教室を開催しています。

また、交通事故の被害軽減を図るため、自転車乗車時におけるヘルメットの着用促進や損害賠償責任保険等への加入促進等の広報・啓発を実施しています。

## ＜交通安全教室の実施状況＞

対象	実施頻度	実施内容
市内小学4年生	年1回	講義(点検・利用ルール等)、実技指導
シルバー人材	年1回	実技指導

## 課 題

- ・自転車関連事故の抑制に向けて、自転車利用者の法令遵守や安全意識の向上に向けた継続的な取組が必要です。